

# 平成28年度 第2回 ほたる多職種研修会

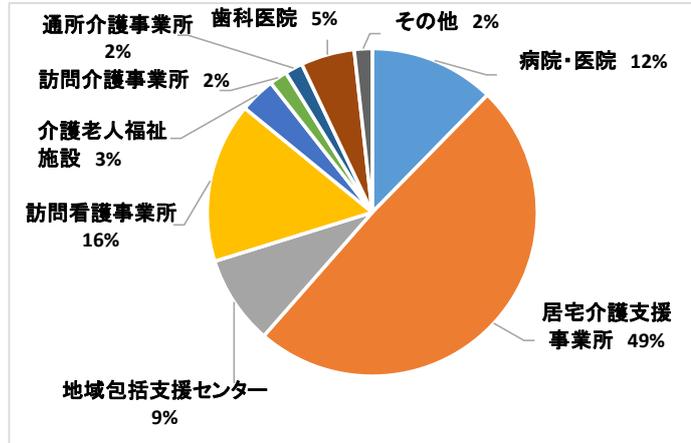
平成28年11月18日(金) 15:00~16:00

テーマ「人工呼吸器装着患者の観察ポイント」

参加者: 79名 アンケート協力者: 57名 回収率: 72%

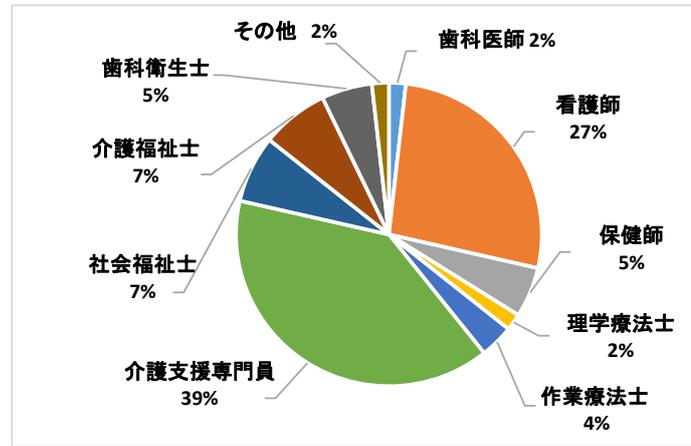
## 所属

病院・医院	7
居宅介護支援事業所	28
地域包括支援センター	5
訪問看護事業所	9
介護老人福祉施設	2
訪問介護事業所	1
通所介護事業所	1
歯科医院	3
その他	1
合計	57



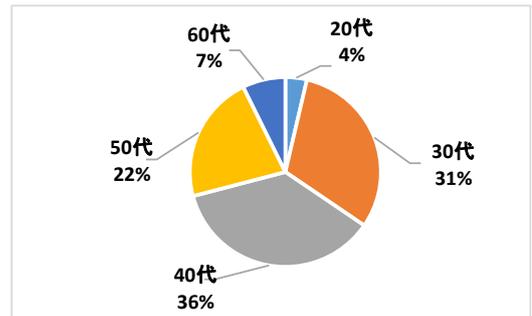
## 職種 (複数回答)

歯科医師	1
看護師	15
保健師	3
理学療法士	1
作業療法士	2
介護支援専門員	22
社会福祉士	4
介護福祉士	4
歯科衛生士	3
その他	1
回答なし	1
合計	57



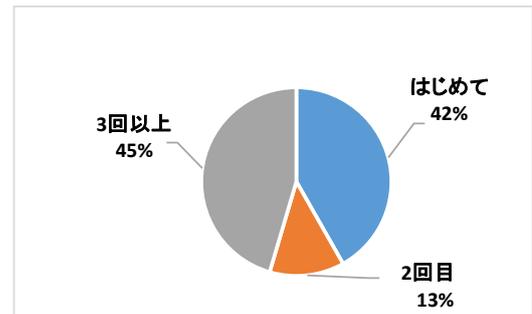
## 年代

20代	2
30代	17
40代	20
50代	12
60代	4
回答なし	2
合計	57



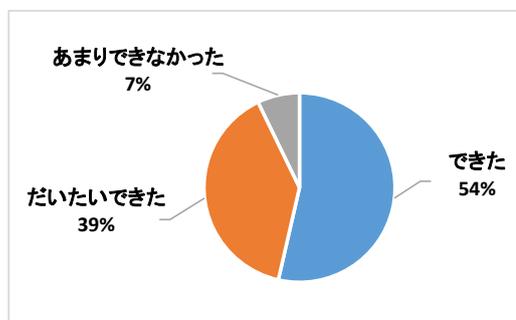
## ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	23
2回目	7
3回以上	25
回答なし	2
合計	57



### I. 研修会の内容は理解できましたか。

できた	30
だいたいできた	22
あまりできなかった	4
できなかった	0
回答なし	1
合計	57

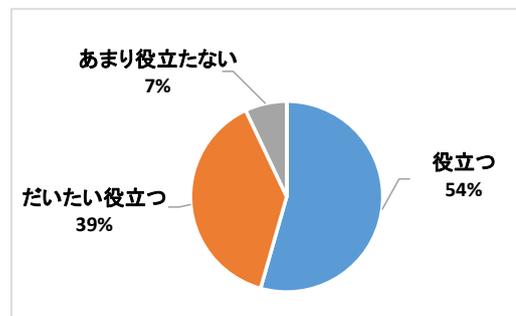


#### その理由

- ・ポイントをおさえた説明で理解しやすかった。
- ・ALSの方が在宅で利用している機器、必要としている資源などが理解できた。
- ・家族の発表が効果的で理解を助けた。

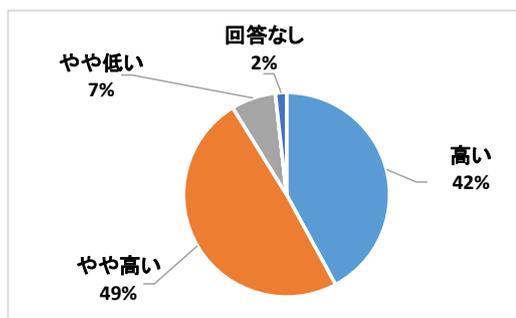
### II. 研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか。

役立つ	31
だいたい役立つ	22
あまり役立たない	4
役立たない	0
合計	57



### III. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	24
やや高い	28
やや低い	4
低い	0
回答なし	1
合計	57

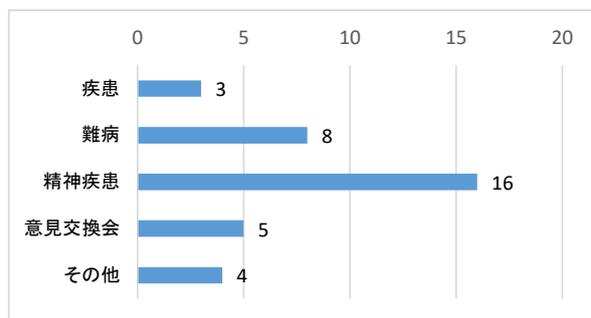


#### その理由

- ・観察ポイントや家族への支援方法など、とても分かりやすかった。
- ・家族から不安についてお聞きすることが多く、今後の支援の参考になった。
- ・同一人物に対して、家族目線、NS目線の話が聞けて良かった。
- ・難病を抱える方が在宅療養を行う上で必要なこと、実際の生活についてお聞きすることができてよかった。
- ・ご家族の話を書くことができ大変有意義でした。ありがとうございました。

### IV. 今後取り上げてほしいテーマについて。(複数回答可)

疾患	3
難病	8
精神疾患	16
意見交換会	5
その他	4



#### 各項目の内容として

◆疾患 がん×2、糖尿病

◆難病 パーキンソン病×4、神経難病、多系統萎縮症

◆精神疾患 うつ病×4、統合失調×3、退院支援

◆意見交換会 病院(病棟看護師や連携室)と、居宅介護支援事業所[入院・退院時の連携について] 行政(鶴岡市長寿介護課や保健所)、障害支援センターと、居宅介護支援事業所 事業所の介護支援専門員どうしでの意見交換会

◆その他 神経難病の方の実態(罹患率・状況)や関わり方について 人工呼吸器を選択するまでの家族や本人の気持ち、訪問看護、介護、ケアマネ等の関わり方について 庄内地域での地域連携の現状と課題(特に在宅部門)について

## V. その他、研修内容に関する意見や感想

- ・呼吸器管理など、実践に役立つ内容を聞いて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・資料も発表もわかりやすかったです。
- ・訪問看護は在宅医療の中で重要な役割を持っていると改めて感じました。
- ・ご家族と医療者側、両方の話を聞いてよく理解できました。
- ・医療依存度が高いと福祉サービス(通所、ショートステイ)の利用が難しいのが現状です。  
支える私たちも家族も利用できる事業所があることが”安心”につながります。
- ・療養生活の家族の生の声を聴くことができ大変ありがたかった。申請の手間が大変…というのは本当です。  
若い方でも大変なのに高齢者は更に大変だと思います。
- ・利用者、家族のメンタル、フォロー等についての講演をしてほしい。